

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

693

四季の郷公園管理運営事業（自然観察の森）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	四季の郷公園事業費		
	大事業	四季の郷公園事業		
	中事業	四季の郷公園管理運営事業（自然観察の森）		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 清瀧 篤樹 435-1049
事業実施の根拠法令	都市公園条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	身近な自然環境の中で昆虫、野鳥等の小動物及び植物と触れ合い、これらの観察を通じて自然への理解を深める場を提供する。		自然観察の森は、野鳥や昆虫及び植物といった身近な自然とふれあえる場として、また、自然観察を通じて自然保護の心を大切に守っていく場として設置されている。この施設を利用することで、自然観察への関心や興味が深まり、自然の不思議、素晴らしさに感動し、自然への愛情やモラルが高まる。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	自然と親しむ行事（イベント）の企画、実施（年間25回）	自然と親しむ行事（イベント）の企画、実施（年間25回）	和歌山自然観察の森の各施設、設備の管理、維持 自然と親しむ行事（イベント）の企画、実施 和歌山自然観察の森運営協議会の開催及び連絡・調整	和歌山自然観察の森の各施設、設備の管理、維持 自然と親しむ行事（イベント）の企画、実施 和歌山自然観察の森運営協議会の開催及び連絡・調整	和歌山自然観察の森の各施設、設備の管理、維持 自然と親しむ行事（イベント）の企画、実施 和歌山自然観察の森運営協議会の開催及び連絡・調整

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	19,123	19,123	17,995	18,112	14,802	18,833	14,828	0	14,828	0
伸び率（%）	5.2%	5.9%	△5.9%	△5.3%	△17.7%	4%	0.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,915	1,835	2,318	2,078	2,497	2,578	2,417	0	0
	正規職員以外	5,294	5,719	0	4,986	4,791	4,791	4,768	0	0
	小計	7,209	7,554	2,318	7,064	7,288	7,369	7,185	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	2,086	2,691	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	13	13	13	10	10	10	11	0	0	0
一般財源（税等）	19,110	19,110	17,982	18,102	14,792	16,737	12,126	0	14,828	0
所要人数（人）	正規職員	0.24	0.23	0.29	0.26	0.31	0.32	0.30	0.00	0.00
	正規職員以外	2.12	2.29	0.00	2.10	2.10	2.10	2.09	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 14,047千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント回数		回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25	33	30		
			達成度(%)	100%	100%	120%	%	%
イベント参加者数		人	目標値	2000	2000	2000	2000	2000
			実績値	1606	1590	1647		
			達成度(%)	80.3%	79.5%	82.4%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現在、子供たちが、自然環境について実際に体験学習し、遊べる機会が少なくなっています。本市においても、子供たちが自然環境について親しめる場を提供する必要があります。
見直し・改善内容	近年体験型イベントへの公園利用者のニーズ変化から、自然や植物を活用した体験を求める利用者が増えているため、そのニーズ変化に応じた体験メニューの見直し及びそれに伴う整備方法や管理方法の見直しが必要である。